

塚口中が初優勝

辰美の健闘及ばず

兵庫県中学校総合体育大会

兵庫県中学校総合体育大会は8月8・9日、淡路・三原中学グラウンドで県下8地区の代表が参加して行われ、阪神代表の塚口が決勝で辰美を3対0で下し初優勝に輝いた。

▷決勝

塚口 3 (1-0) 0 辰美

立ち上がりから互いにゴールをおびやかし緊迫した試合となった。辰美は得意のロングキックでFWを走らせ、一方の塚口はしっかりした個人技で落ち着いてボールをまわし、時おりロングシュートを放ってチャンスをねらった。辰美はボールを大きくあげ、雨堤(恵)にあわせて突破を試みたが、塚口の村上、大沢を中心とする固い守りに抑えられて苦しい展開。

これに対し、塚口は精力的に動く大森、笹部らがたびたびチャンスを生み出した。前半6分、速い攻めから大沢のロングシュートがバーに当たってはね返ったところを、大森が突っ込んで先取点を奪った。辰美も俊足の小丸を走らせてチャンスを結びつけようとするが、脚力のある塚口バックスに防がれて不発。

兵庫県中学校総合体育大会結果

大久保(東播)	0	2							
塚口(阪神)	2		1						
御津(西播)	0			1					
浜坂(但馬)	6				1				
姫路灘(中播)	2					4			
辰美(淡路)	4						0		
水上(丹有)	0							3	
上野(神戸)	10								0

後半開始直後、塚口は辰美ゴール前でフリーでパスを受けた水谷が、中央からねらいすまして鮮やかな2点目を決めた。塚口はなおも攻撃の手をゆるめず、終了間際にも縦パスを受けた大森がダメを押す3点目をあげ、辰美を突き離れた。

1回戦で水上が上野に大敗したが、全般には代表チームの間には力の差はほとんどなかった。準決勝では御津が最後まで塚口を苦しめた。上野は大会前に守備の中心選手を負傷で欠き、不本意な成績に終わった。(マ)

塚口中▷DGK古山▷FB木口、山本、村上▷HB城野、大沢、坂本、水谷▷FW今元、大森、笹部

辰美中▷DGK三木田▷FB雨堤正、前川、岡本▷HB登、道上、雨堤保、内原▷FW斉藤、雨堤恵、小丸▷交代 原

近畿総体では準優勝

各府県の代表12チームが参加して8月23、24日行われた近畿中学校総体は京都代表の城陽中学が優勝した。

12チームが4ブロックに分かれて予選リーグを争った結果、決勝トーナメントは兵庫と京都勢の対戦となった。

塚口と城陽の決勝戦は、炎天下連日のダブルヘッダーにもかかわらず、気力にあふれた激しいプレーをみせた。前半はともに無得点だったが、城陽は分厚い攻撃を繰り返したあと16分、塚口ゴール近くで得たFKを福島が

真夏の祭典・ジュニアフェスティバル

目を見はる高い個人技

第8回ジュニアサマーフェスティバルは8月26、27、28日の3日間、神戸中央球技場を中心に小学4年生から中学3年生まで、39チーム(うち3チームはオープン参加)が参加して行われた。

昨年度は清水FCが全部門を制覇したが、今年は中学3年の部門で、枚方が高度な技術を披露して清水を破り、また今年初めて兵庫愛媛など5県の優秀選手で編成した西日本少年クラブ(小学6年)が優勝するなど、連日熱戦が繰り広げられた。

小さくけり、走りこんだ狩野が強烈なシュートを決めた。結局2対0で城陽が優勝したが、個人の力は互角だった。しかし、全員で攻め全員で守るというサッカーの基本に忠実だった城陽に勝利の女神がほほえんだ。(マ)

近畿中学校総合体育大会決勝トーナメント 結果

辰美(兵庫)	1	2							
城陽(京都)	2		1						
塚口(兵庫)	1			1					
下鴨(京都)	0			0					



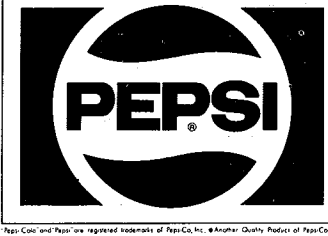
辰美1回戦で敗退

全国中学生大会

第9回全国中学生大会は8月16日から20日まで、埼玉県大宮サッカー場などで行われ、千葉県代表・古河第一中学が静岡県代表・藤枝中学を破って優勝した。

兵庫県代表の辰美中は1回戦で栃木県代表の藤岡一中に2対5で敗れた。

▷1回戦
辰美2 (1-3) 5 藤岡一(栃木)



神戸市少年リーグ

初秋のもと元気一杯

神戸のサッカー

1部は9月から後期

河本杯、玉井杯を手にするのはどのチームか? レベルがあがってチーム間の力が接近し、少年リーグは燃えている。53年度神戸市少年リーグ1部(小学6年生年齢以下男子)に参加したのは40チーム。6組に分けて熱戦をくり広げた前期リーグを7月30日に終え、各組で勝ちぬいた上位2チーム合計12チームの間で、栄光の河本杯が争われる。

2・3部も熱戦続く

予想どおり昨年度の覇者神戸FC・Aと同じく準優勝の東灘Aが、ともに全勝の成績で後期Aグループにコマを進めれば、このチームに一步もひけをとらない成徳A、御影A、蓮池Aからも順調に勝ち進み、後期リーグは手に汗にぎる好試合の連続が予想される。特に、AグループにA・B2チームを送りこんだ箕谷は、秋の季節を迎えて文字どおり台風の日となりそうだ。

2部(小学4年生年齢以下男子)は前期リーグを数試合残しているが、各組の上位2チーム合計6チームで構成される後期Aグループの顔ぶれが決まりかけている。神戸FC・Cと成徳Aの2チームは、Aグループ進出がまちがいなさそうだ。

3部(小学生女子)は2組に分かれ、おかつばやロングヘアの女の子たちが、男の子に負けない見事な動きをみせているが、各チームとも試合の消化が進んでおらず、リーグの行方は9月以降にまかされる。この中で、女子チームだけにマトをしぼった八多の活躍が注目されている。

1部リーグ後期グループ分け

Aグループ▷1組 神戸FC・A、千歳A、御影A、板宿、蓮池A、渦ヶ森▷2組 箕谷A、東灘A、鶴越A、箕谷B、北五葉、成徳

Bグループ▷1組 高倉台D、高倉台A、東灘B、御影B、多井畑A、神陵台A▷2組 名倉B、ひよどり台A、桜の宮A、垂水SS、和田岬A、神戸FC・B

Cグループ▷1組 千歳B、YMCA・A、丸山A、高倉台B、多井畑B、北須磨、鶴越B、神戸SS▷2組 多井畑C、丸山B、ひよどり台B、名倉A、神陵台B、高倉台C、蓮池B、和田岬B



1部リーグ(小学6年生年齢以下)前期成績表

1組	チ-ム	神戸FC	箕谷A	高倉台D	名倉B	千歳B	多井畑C	勝点	得失点差
1	神戸FC-A		3-0	14-0	9-0	18-0	17-0	10	61
2	箕谷A	0-3		7-0	9-0	10-0	7-0	8	30
3	高倉台D	0-14	0-7		1-0	1-1	1-0	5	-19
4	名倉B	0-9	0-9	0-1		5-1	3-1	4	-13
5	千歳B	0-18	0-10	1-1	1-5		4-0	3	-28
6	多井畑C	0-17	0-7	0-1	1-3	0-4		0	-31

2組	チ-ム	東灘A	千歳A	ひよどり台A	高倉台A	丸山B	YMCA	勝点	得失点差
1	東灘A		10-0	6-0	10-0	10-0	5-0	10	41
2	千歳A	0-10		3-1	2-0	5-0	4-1	8	2
3	ひよどり台A	0-6	1-3		1-1	3-1	5-0	5	-1
4	高倉台A	0-10	0-2	1-1		5-0	3-0	5	-4
5	丸山B	0-10	0-5	1-3	0-5		5-0	2	-17
6	YMCA-A	0-5	1-4	0-5	0-3	0-5		0	-21

3組	チー ム	御影 A	鶴越 A	東灘 B	桜の宮 A	丸山 A	ひよどり台 B	高倉台 B	勝点	得失点差
1	御 影 A	2-0	4-1	2-0	4-2	9-0	10-0	12	28	
2	鶴 越 A	0-2	3-1	2-0	0-5	2-1	9-0	8	7	
3	東 灘 B	0-4	1-3	3-3	3-2	4-0	8-0	7	8	
4	桜の宮A	0-2	0-2	3-3	1-1	5-0	7-1	6	7	
5	丸 山 A	2-4	5-0	2-3	1-1	4-0	0-0	6	6	
6	ひよどり台B	0-9	1-2	0-4	0-5	0-4	1-0	2	-22	
7	高倉台B	0-10	0-9	0-8	1-7	0-0	0-1	1	-34	

4組	チー ム	箕谷 B	板宿	垂水 S S	御影 B	名倉 A	多井畑 B	神陵台 B	勝点	得失点差
1	箕 谷 B	3-1	3-1	4-1	3-0	5-0	3-0	12	18	
2	板 宿	1-3	3-1	5-0	2-0	5-1	2-1	10	12	
3	垂水 S S	1-3	1-3	4-3	5-0	4-0	4-0	8	10	
4	御 影 B	1-4	0-5	3-4	2-0	2-0	5-0	6	0	
5	名 倉 A	0-3	0-2	0-5	0-2	1-0	4-0	4	-7	
6	多井畑B	0-5	1-5	0-4	0-2	0-1	2-1	2	-15	
7	神陵台B	0-3	1-2	0-4	0-5	0-4	1-2	0	-18	

5組	チーム	蓮池A	北五葉	多井畑A	和田岬A	北須磨	高倉台C	鶴越B	勝点	得失点差
1	蓮池A	5-0	1-0	2-0	14-0	7-0	10-0	12	39	
2	北五葉	0-5	2-1	4-3	4-1	6-0	8-0	10	14	
3	多井畑A	0-1	1-2	6-0	4-0	6-0	5-0	8	19	
4	和田岬A	0-2	3-4	0-6	1-1	3-0	5-0	5-1		
5	北須磨	0-14	1-4	0-4	1-1	1-0	4-0	5-16		
6	高倉台C	0-7	0-6	0-6	0-3	0-1	1-1	1-23		
7	鶴越B	0-10	0-8	0-5	0-5	0-4	1-1	1-32		

6組	チーム	成徳A	渦ヶ森	神戸FC	神陵台A	蓮池B	神戸SS	和田岬B	勝点	得失点差
1	成徳A	3-0	2-0	1-0	7-0	7-0	20-0	12	40	
2	渦ヶ森	0-3	0-2	3-2	3-0	4-0	9-0	8	12	
3	神戸FC・B	0-2	2-0	0-1	4-2	1-1	17-0	7	18	
4	神陵台A	0-1	2-3	1-0	0-0	6-0	12-0	7	17	
5	蓮池B	0-7	0-3	2-4	0-0	5-0	9-0	5	2	
6	神戸SS	0-7	0-4	1-1	0-6	0-5	5-0	3	-17	
7	和田岬B	0-20	0-9	0-17	0-12	0-9	0-5	0	-72	

個人購読のご案内

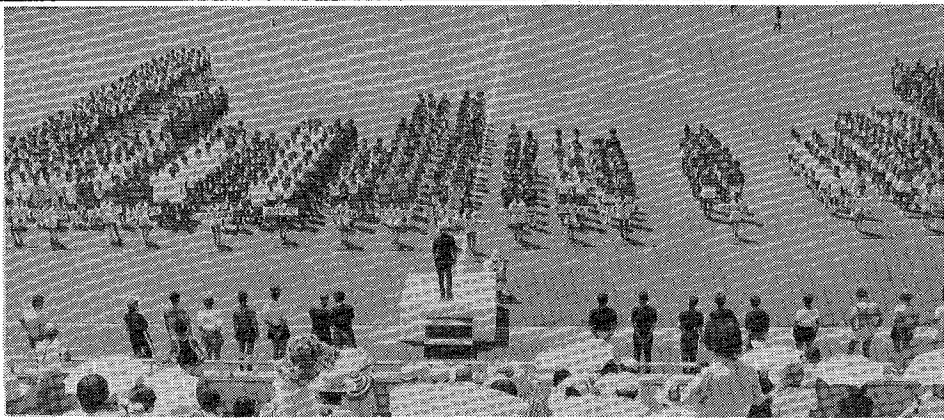
弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として50円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒657 神戸市灘区上野通6丁目3-12

加藤 正信 ☎078 (861) 3100

なお、数人分をまとめて申し込まれる場合は、郵送料の割引がありますのでご連絡ください。

力強く宣誓する神戸FC・中元文浩選手(8月26日 神戸中央球技場)



国体出場権を獲得

兵庫少年選抜 和歌山に辛勝

成人、教員は敗退

長野国体の関西代表を決める予選が、8月から9月にかけて行われ、兵庫選抜は少年チームが和歌山に勝って、出場権を獲得。成人と教員チームはともに京都選抜と対戦し、惜しくも敗退した。

少年の部は関西予選に参加した6チームのうち5チームが国体に出場できるとあって、勝ち抜き方式ならぬ「負け抜き方式」が採用された。最後まで負け続けた1チームが失格し、途中で1度でも勝てば出場権がえられることになる。少年選抜は8月30日、大阪和泉高グラウンドで和歌山選抜と対戦。1兵庫は前半16分、左サイドから田口がセンターリングをあげ、大野が頭で折り返したところを、中央で赤松がボレーシュートを決めて先取点をあげた。し

かし、後半になって兵庫は疲れが見え、和歌山に押し込まれたが、GK新谷らの攻守で0点に抑えた。

少年チームは関西予選に先立ち8月16、17、18日静岡県へ強化遠征に出かけた。3年生を主体としたシニアと2年生中心のジュニアの2チームがそれぞれ4試合ずつ行った。静岡選抜や静岡学園などを相手に、シニアが2勝1分け1敗、ジュニアが3分け1敗とまずまずの成果をあげ、これが国体出場の大きな力となった。

一方、成人チームは奈良を下したあと、出場権をかけて京都と戦ったが1-2で惜敗。教員チームも代表決定戦で大阪に敗れて出場権を逸した。

兵庫少年選抜

▶選手▷GK新谷祐幸：主将（神戸3年）、▷FB福永淳二（御影工3）、西田正雄（御影工3）、吉田均（県尼崎3）、吉田昌史（三原3）、早田仁（北須磨2）▷HB福田安和（御影工3）、与保二（御影工2）、井関理（県西宮3）、高浜宏吉（神戸3）▷FW田口亮一（尼崎北3）、赤松明彦（尼崎北3）、大野真一（御影工3）、塩形洋二（御影工3）、藤田圭三（県芦屋2）▶監督 一北四郎（御影工教諭）▶コーチ 小和郁生（赤穂教諭）

一般・成人の部 (8月6、13日 服部競技場)

兵庫	4	1	京都
奈良	1	2	
京都			
滋賀	1	0	大阪
和歌山	0	2	
大阪			

一般・教員の部 (8月13日 服部競技場)

滋賀		1	和歌山
奈良		2	
和歌山			
大阪	1	1	京都
京都	2	0	
兵庫			

少年の部 (8月30、31日 9月3日)

京都		3	3
滋賀	1	0	
大阪	3	0	
和歌山	0	1	2
兵庫	1	0	
奈良		1	

少年の部は京都、滋賀、大阪、兵庫、奈良の5チームが出場する。

激しい後期開幕

関西社会人リーグ

関西社会人リーグが9月2日から始まった。前期は電々近畿が首位の座を堅持。2、3位は大日、兵庫教員と昨年度の最終順位と同じだが、消化試合がチームによって異なるため、各節ごとに順位が変化する激戦りリーグの様相だ。

①電々近畿7勝3分け2敗（勝ち点17）②大日日本電線7-2-3（16）③兵庫教員5-5-2（15）④三菱自工京都3-7-2（13）⑤三菱重工神戸4-5-2（13）⑥湯浅電池5-1-5（11）⑦新日鉄広畑4-3-5（11）⑧大阪教員クラブ2-2-7（6）⑨和歌山教員クラブ0-2-9（2）

県リーグも後期へ

古河が首位で折り返す

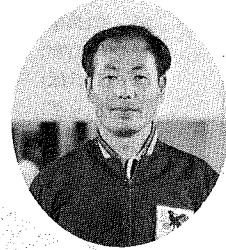
兵庫県社会人リーグは6月4日に前期の日程を終え、9月3日から後期に突入した。前期は古河金属が最終日に神戸FCに敗れたが、勝ち点22でトップを折り返している。これに三木FC、神戸FCが続く“3強”を形成している。今年度から引き分け試合をなくし、PK戦で勝負を決める方式を採用、これに伴って勝ち点の計算方法が変わった。後期は、天皇杯全日本選手権で兵庫代表となった日本触媒などが浮上してくると思われるので、おもしろい展開となりそうだ。

①古河金属5勝1PK勝ち1敗（勝ち点22）②三木FC4勝1PK勝ち2敗（18）③神戸FC4勝3敗（16）④マックエルフ3勝1PK勝ち3敗（14）⑤ユニオン・ロマンチカ2勝1PK勝ち2PK負け2敗（12）⑥川崎重工2勝2PK負け3敗（10）⑦日本触媒1勝1PK勝ち2PK負け3敗（8）⑧葺合クラブ1勝1PK勝ち5敗（6）勝ち点 勝ち=4、PK勝ち=2、PK負け=1、負け=0

ゴールキーパー 講習会に参加して

一北四郎

日本協会は、わが国のゴールキーパーのレベルアップを図る目的で、ハンガリーから2人のGK専門コーチを招いて、千葉県検見川など4地域でGKのための特別講習会を開きました。



私が参加した岡山での講習会は、高校生を主体としたもので、炎天下の5日間、きびしい日程が消化されました。講師は主任コーチのジョルジ・ツァガーとデモンストレーター・ジュラ・タマースの2人で、ともにハンガリー代表選手としての経験を持っています。特にツァガーは、48年名門フレンツ・パロジの員として来日、大阪長居競技場でプレーしたこともあり、現在はハンガリー代表チームのGK専門コーチを務めています。

講義、実技ともに英語で進められ、通訳として筑波大学の山中先生が担当されました。兵庫県からは神戸高・新谷裕幸君と滝川高・前岡直樹君が参加、GKの可能性に挑戦しました。特に、兵庫県少年選抜に選ばれている新谷君は、さっそく選抜チームの仲間に講習会の内容を披露し、また本人も著しい成長ぶりを見せています。

講習会の中では、実技の面で多くのものを学びとることができました。体力トレーニングの種類が豊富で、第1日目のウォームアップ



神戸高の新谷選手は講習会に参加してから著しい成長をみせている（写真は昨年度の兵庫県高校総体より）

試合の流れを読み

ハンガリーのコーチが力説

ブとして30種類以上の目新しい運動が紹介されました。技術面においては、静止したボールを使った基本動作の重要性に認識を新たにしました。実戦的トレーニングに関しては、ボールがGKの手からこぼれて相手に渡れば非常に危険な状態になる、GKの役割はそれだけ重いことから、常に試合の展開に注意しなければならぬ点を力説したあと、シュートがGKの味方のバックに当たってコースが

変わったり、パンチングした直後の局面を想定した練習はとて有意義でした。いずれ機会を見て、兵庫県内の関係者を対象として、伝達講習会を実施したいと考えております。

「ゴールキーパー講習会に参加して」は今月からシリーズでお送りします。技術、戦術的な内容も多く紹介する予定ですのでご期待ください。

中盤戦へ突入 53年度神戸市社会人リーグ 93チームがしのぎを削る

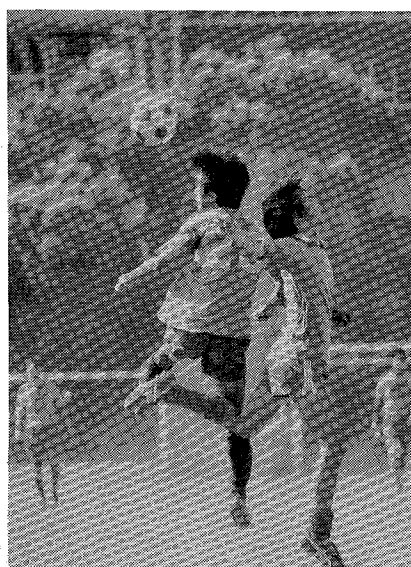
神戸市社会人リーグは5月7日に開幕し、93チームが1、2、3部に分かれて白熱の好試合を展開している。各チームとも消化試合が少ないので、リーグの行方は予断を許さないが9月からはいよいよ中盤戦にさしかかり、星のつぶし合いも激しくなりそうだ。なお、9月3日現在の成績は次のとおり。

神戸市社会人リーグ途中成績

1部 神大同好会 2勝0分け0敗、神戸FCユース2-1-0、神戸製鋼2-0-1、神戸市役所A1-0-3、スワロ-FC0-1-3、神戸ライオン0-0-3、六甲ヒルケル3-0-1、川重発本3-0-0、神戸スポマン0-2-2

2部【A】赤塚山OB2勝1分け0敗、KRAC0-0-0、かつおぶしFC2-0-1、川鉄建材工業0-0-2、大森廻漕店1-0-2、ケンタッキー3-0-0、神戸市役所B1-0-1、三菱電機0-0-2、兵庫県庁0-1-1【B】双和クラブ3-0-0、舞子台クラブ1-0-3、魚崎クラブ0-1-3、須磨クラブ2-0-0、三菱重工B2-0-0、神戸FC・A2-0-1、川西倉庫1-1-2、あしかびFC1-0-1、灘FC0-0-2

3部【A】リバーサイドクラブ1勝1分け1敗、神港クラブ1-0-2、FC'783-0-0、川鉄本社0-0-3、兵庫朝鮮3-0-0、神大OB2-0-1、ロジェ0-0-3、川鉄阪神1-1-1【B】富久娘0-0-4、会下山クラブ1-0-2、ナブコマイティ2-0-1、富士電機2-0-1、舞子FC2-0-0、朝銀信組0-0-2、アーセナル3-0-0、神戸アーベント1-0-1【C】川重西神戸0-2-1、兵庫教員B1-0-1、双和OB1-0-0、県職神戸



1部リーグ神戸市役所A1六甲ヒルケル戦より

神戸市社会人リーグ運営会議 9月14日（木）

10月12日(木)、11月16日(木)、12月14日(木)
1月18日(木)、2月15日(木)、3月15日(木)

本紙は次のところにもあります

関正スポーツ 東灘区住吉宮町4丁目6-13 ☎078(821)8449
国鉄住吉駅南側西へ20m

灘スポーツ 灘区倉石通5丁目1-8 ☎078(861)4671
市バス水道筋6丁目上る100m東側

塩谷スポーツ 兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870
バンドウ化学南

MEN'S SHOP MAC 三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュショップ ☎078(391)0896
トアロード店 ☎078(575)7688
神戸・新聞地店

ワールドスポーツ 東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

オウビ 葺合区琴緒町4丁目7 ☎078(242)3667
国鉄三宮駅北側神戸理髪専門学校斜め前(田上ビル1階)

福島・高校総体

敗れて悔いなし

尼崎北 初出場ですベスト16

猛暑の中での福島総体は、49チームが参加して8月2日から7日まで行われ、大阪代表北陽高の優勝で熱戦の幕を閉じた。

兵庫県代表の尼崎北は、初出場ながらベスト16入りを果たした。準々決勝進出をかけて8月4日、岐阜県代表の大垣工と対戦。1点を許したあと後半PKを得て同点としたが、追加点を奪えずPK戦で大垣高の前に敗れた。最後まで全力を出し切った尼崎北イレブンの表情は「精いっぱいやった」の満足感が漂っていた。



尼崎北の選手たち

夏の総体、冬の選手権を通じて、全国大会へ出場したのは今回が初めて。それだけに選手自身も不安感をかくし切れなかった。しかし、大会が始まると、尼崎北はきびきびしたプレーで、日ごろ鍛えた成果を思う存分に発揮した。

1回戦の相手は、強豪の一つに数えられている愛媛県代表・東予工。走る東予工に攻めこまれながらも最終ラインでよく食い止め、田口、赤松のツートップの反撃が成功した。前半1点を失ったものの、後半東予工の出足が止まったところを、尼崎北は冷静にパスをつなぎ、サイドから攻めて関、田口が得点をあげ東予工を振り切った。

益田商の2回戦では、立ちあがりから尼崎北が再三のチャンスを迎えながら、ゴールを割ることができなかった。だが後半に入って、5分に芦川がシュートを決めると9、11分にも田口、赤松が立て続けにダメ押し点をあげ、3-0で快勝。

調子にのる尼崎北は初出場と思えない活躍ぶり、ベスト8進出をめざして大垣工と対戦した。中盤でショートパスをまわし、ゴール前でクロスパスをあげてシュートをねらう大垣工を相手に一進一退の攻防が続いたが前半終了間際、クロスボールを強引に決められた。後半8分に得たPKを田口が難なく決めて延長に入ったが、ともに無得点。PK戦で力尽き、準々決勝進出はならなかった。

主将の中根を中心に高校生らしいサッカーを披露し、特に田口らの攻撃力は全国の上位にランクされるだけのものをもっていた。惜しくも3回戦で敗退したが、選手たちは互いに今後の健闘を誓って、福島を去った。

尼崎北の戦績

▷1回戦	尼崎北	2	(0-1)	1	東予工(愛媛)
▷2回戦	尼崎北	3	(2-0)	0	益田高(島根)
▷3回戦	尼崎北	1	(0-1)	1	大垣工(岐阜)